

令和元年度行政評価に係る外部評価意見概要

令和元年 8 月 21 日(水)

① 小学校情報教育推進事業

- ・使う上での情報端末は用意されているが使用配慮が不十分、体制を整備しないと高額な情報端末も無駄になってしまう気がする。
- ・実社会で使用するのはキーボード、小学生レベルでも一般的なソフトウェアを使えるようになる事が重要。
- ・学校の先生方は手一杯なので事業を拡充し、授業の一環として外部講師を雇い、生徒向けのパソコン教室の実施を考える事も必要。

② 高齢者筋力向上トレーニング事業

- ・施設内にトレーニング機器があれば便利だが、あれば良いのはどこも同じスリム化も必要。
- ・実際に高齢者の健康増進に繋がっているか、介護保険等の負担が減っているか、福祉という面も考慮し広く評価する必要がある。
- ・サービスが、施設利用のコストに見合ったものになっているかどうか。施設全体で、成果を上げる効果、意味を持つものになっているかどうか。広げて考え利用拡大を図っていく必要がある。

③ がん検診事業

- ・病院に検診に来ていただく為の啓蒙活動、病院からのPRなど、もっと旭中央病院を活用したほうが良い。
- ・検診を受けなくてはならない人たちが、どのくらい受診しているかを見続けていただく必要がある。さしあたり国民健康保険加入者の検診受診率の状況分析をお願いしたい。
- ・前立腺がん検診の対象年齢を、40 歳以上に引き下げてほしい。

④ 米の力再発見事業

- ・お金の使い方の効率性を高める時に、補助金はあまり良いやり方ではない。ここをもう少し見直していただいて、補助金を出す必要があるか考えていただく必要がある。
- ・米粉製粉機の管理委託もひとつの方策かと、また、将来を見据え検討し、継続していくばかりが選択肢ではないと思う。